

婦人会だより 合同版

○雪のない冬になりました。自転車も使えて楽ですが、こんな冬でこの先どうなるのかちょっと心配ですね。インフルエンザもはやっていますし、皆さんいかがお過ごしでしょうか。年末年始の行事のあれこれをお伝えいたします。

○年末の大掃除には男性 10 名・女性 16 名と大勢の方が来ていただき 1 時間程度で大掃除は終了いたしました。おかげですっかりきれいになり、すがすがしく新年を迎えることができました、ありがとうございました。

仏壮例会のお知らせ

2 月 27 日(金)

午後 7 時より

会場:本光寺

会 費:2000 円

年会費まだの方:3000 円

出欠の連絡は同封のはがきで
お願いします



○元旦会では本堂でおまいの後、昨年同様にお茶会をいたしました。ひざが痛くて座れない方がけっこうおられますので、今年は清浄の間をお休みどころにしてちょっとおせち料理を用意和やかに歓談いたしました。そして、歓喜の間を茶室とし、イスと長机で席を作り、唯宏が盆手前でお茶を立てました。ゆっくりとした時間が過ごせたようです。来年はどんな趣向ができますでしょうか。

○2月8日は「本光寺仏教婦人のつどい」を開催しました。町内や村の方の各地にいらっしゃる本光寺御門徒のご婦人たちの交流を目指しました。そこで、中型バス2台を手配し猪苗代方面、下郷方面にお迎えに行きました。おかげで大勢の参加を見ることができ楽しいつどいことができました。お勤めの練習や、お仏壇のお飾りのやり方のこと、ご法事の勤め方、いろんな質問も出ま



した。ひかり婦人会副会長の星恵子さんの指導で、ヨガで体もほぐしていただきました。



御同朋の社会をめざして【Q&A】

基幹運動推進本部専門委員 沖井智子

Q) ダーナをすると、何か良いことがあるのでしょうか？

A) ダーナとは

ダーナというのは、仏教語で「布施」のことです。「布施」というと、お坊さんにおつとめをしていただいた時にお渡しするお金だと思いますよね。でも「布施」とは、施しのことですからお金ばかりではないのです。いろんな布施があります。

金品を分かち合うのは「財施」、真実の仏法を教え広める（お坊さんによる法話だけでなく、その機会を作ることも含め）のは「法施」と言います。

仏教婦人会などで、集りの時には「ダーナ募金箱」をまわして浄財を集め、そのお金で福祉、環境保護、災害見舞いなどに協力していますよね。これは、「財施」の心をご縁に広がった活動なので、「ダーナ」と言うのです。

「無財の七施」という言葉があります。眼施、和顔悦色施、言辞施、身施、心施、床座施、坊舎施の七つを言います。現金などの準備がなくても、「いつでも」「どこでも」「だれでも」できる布施、つまりダーナです。

「あたたかなまなざしで、にこやかな笑顔で、やさしい言葉で、精いっぱい慈しみの心をもって人に接していると、お互いにあたたかい居場所をもつことができ、お互いに気持ちよく迎え入れることができるようになります。そうすると、とってもあたたかい社会ができあがってきます。」と、私はこの「無財の七施」を受け止めています。

でも、これが崩れる時があります。どんなときでしょう？

それは、私がこころのなかで「私の笑顔に、あなたの笑顔で返してよ！なんでそんなに睨むの？」とか、「あのとき体がつらそうだったから、荷物を持ってあげたのに・・・。今日は私がつらいのに、なんで知らんぷりするの？」などと思った時です。

私がライフワークとして参加しているスカウト活動では『人のお世話にならぬよう、人のお世話をするように。そして報いをもとめぬよう』と

いう言葉があります。ボーイスカウト日本連盟初代総長「後藤新平」先生の言葉です。

まさにダーナの心がなくては出てこない言葉だと思います。その中にどっぷりつかって活動していても、やっぱり「～してやったのに！」という心がわいてきます。知らず知らずのうちに報いを求めてしまっている私がいいます。

このように、報いを求めたときに崩れるのです。

見返りを求めず

私たち人間は、どうしても見返りを求めてしまいます。欲にまみれた私の姿が見えてきます。悲しいことですね。

ダーナをすること、例えば、無財の七施を行うにしても、見返りを期待してしまった時点で、それはダーナではなくなっているんだと思います。見返りを期待しないで、何も考えずにずっと行動に移すことができることが一番「ダーナ」の心になっているのでしょうか。私たちには、なかなかできることではないかもしれませんが、ただ、私たちがいつも「ダーナ」のことを心にとめて日常を送るのと、「ダーナ」は別の世界のことと思って日常を送るのとでは、大きな違いがあります。

「ダーナをすると、何か良いことがあるのでしょうか？」というご質問ですが、決して「目の前に宝物が飛び出してくる」ものではありません。

「徳を積むから、良いことがある。」という方がいらっしゃるかもしれませんが、そんなことはありません。

あるとすれば、「私の真の姿を見ることができ」、そのことから、「おかげさま」と生かしていただいている自分を見つけることができることではないでしょうか？

「おかげさま」と生かしていただいている自分を見つけると、意識しなくても「ダーナ」を実践している私がそこにあるんだと思っています。

「大乗」2009年2月号より

